

第169回 関西広域連合委員会

日時：令和6年8月22日（木）

場所：メルキュール鳥取大山リゾート&スパ 2階

メインホール

開会 11時37分

○三日月広域連合長 まず、冒頭おわび申し上げます。御案内していた開始時間が遅れてしまいました。

それでは、第169回鳥取大山での広域連合委員会を開催します。

本日は、平井鳥取県知事はじめ、鳥取県の皆さんに御準備をいただきました。まずは、開催地の平井委員から御挨拶をいただきたいと思います。

○平井委員 ようこそ、ようこそ。よう来てごしなりました。こちら大山のほうで皆様をお迎えをし、ぜひ、今日は天気の方もよくなりましたので、皆さんにこの景観を楽しんでいただければと思います。ここは今、メルキュールとなっておりますが、以前は別の関西系列のホテルでありました。大山ロイヤル、大和ハウス系統のところでもございました。かつて、例えば、全国植樹祭のときの天皇皇后両陛下のお宿ですとか、歴代御皇族もこちらのほうにお泊りになられるところでもございます。「大山を果たてに望む窓近く体かわしつついはつばめ飛ぶ」。これは何と、当時、天皇陛下が御製をここで詠まれたものでございまして、年明けに公表されて、私ども地元もびっくりしたものであります。

「大山、大自然の中に抱かれて、我々は大山に守られている」「大山さんのおかげ」というふうに地元では申し上げております。お手元のほうには大山の麓で採れた、陣構のお茶でありますとか、また、お団子のほうは、これは地藏菩薩、文殊菩薩、観世音菩薩をイメージをした大山の参道で売られているお団子でございます。ぜひ神仏の御加護が皆様にはございますように、お祈りを申し上げ、この鳥取県を楽しんでいた

なければなというふうに思います。いよいよ梨も解禁になりますので、また関西のほうで私どもお持ちをいたします。よろしくお願ひします。今日はありがとうございました。

○三日月広域連合長　　ありがとうございました。

それでは議題に入ります前に、去る8月8日に発生いたしました、宮崎県日向灘を震源とする地震とこれに伴う南海トラフ地震臨時情報につきましては、本日資料配布をしていますが、この対応、その後の課題等につきまして、齋藤委員から御発言をお願いいたします。

○齋藤委員　　改めまして、平井委員はじめ、鳥取県の皆様には御準備等いただきましたことを御礼申し上げます。

南海トラフ地震の臨時情報が先般発出されました。内容については、資料10に整理をしていますけれども、8月8日の16時42分の発災以降、臨時情報の巨大地震注意の発表があり、三日月広域連合長の御指示等いただきながら、関西広域連合としては対策準備室の設置、それから、参与会議の開催、そして、関西広域連合としてのメッセージの発出などをしてきたところです。この間、府県市民の皆様には初めての対応で、様々な戸惑い等あったかと思ひますけれども、関西広域連合、構成団体の呼びかけなどに基づきまして、冷静に行動いただいたことを感謝申し上げます。

一方で、水などが店頭からなくなるといった報道もありましたが、社会経済活動への影響というものも、やはりこれからの課題として認識されたということです。先ほど申し上げましたとおり、連合としては8月8日の発災を受けまして、対策準備室などの対応をしてきました。そして今後、広域連合長ともお話をさせていただきましたけれども、改めて今回の対応、メッセージの発出のあり方、そして、広域避難や広域の応援、受援などの対応について省みて、改めて検討が必要だということを広域連合長とも認識をしたところです。

今年度、関西防災・減災プランの改訂を進めようとしていますので、ぜひ今回の対

応も踏まえまして、課題や論点を整理して対応していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

以上です。

○三日月広域連合長　初めてとなりましたけれども、南海トラフ巨大地震の「注意」の情報に対応してきた結果について、御報告とともに、この間の検証等をした上で、これからは備えていこうということでございます。

まず岸本委員のほうから御意見を願ひします。

○岸本委員　御報告なんですけれども、和歌山県は海岸沿いに観光地がございまして、白浜だけで、宿泊だけで5億円の損害ということです。また、南のほうは調査中なんですけれども、飲食店などを入れると相当な損害を受けています。この際、「警戒」、「注意」、そうでない場合の3通りなんですけれども、我々も初めてであったこともあり、それぞれの市町村の判断なり、イベントの主催者の判断で結果はまちまちでした。用心し過ぎるに越したことはないんですけれども、「注意」であれば、「日頃の社会経済活動は通常に行った上で地震に備えてください」という趣旨だったと思ひますけれども、その辺の統一した基準を、ぜひ国のほうで作っていただきたいと思ひております。

一方で、私どもも7日間、24時間体制で職員が出勤して、防災意識がきりっと引き締まったという意味では、いい訓練にはなったと思ひておりますけれども、今後、「警戒」の場合どうするのか、「注意」の場合どうするのか、統一的な基準を、国を中心に作っていただきたいし、関西広域連合でも御議論を願ひできればと思ひます。

○後藤田委員　我が県におきまして、ちょうどお盆、阿波踊りの時期で、まさに24時間体制で県は対応しておりました。その中で一つ感謝したいのは、鳥取県知事、平井委員から我が県と鳥取県の連携に基づいて、ウェブで早速、何かできることがあれば何でも言ってくれと、こういった協議を持たせていただいたことに改めて感謝を申し上げたいと思ひます。

まさに、そういった能登半島でもカウンターパートのいろんな支援、体制を築き上げたとおり、こういった形での顔の見える日頃の交流っていうのが大事だと改めて認識をいたしましたし、同時に私どもは9月2日まで、まさに集中防災月間ということで、1か月指示しました。県民の皆様にも防災対策、防災意識を醸成すること、また、市町村においても避難場所の空調を含め、様々な備蓄が整っているか、これをもう再チェックしてくださいと、こういうお話もさせていただきました。ただ、自主防災会が事前にアンケートを取ると、「起きたら仕方ないだろう」とか、「今回の準備で行動しなかった」とか、そういう意見も実は相当聞かれました。ですので、改めて、私ども基礎自治体を束ねる広域行政としても、市町村と一緒に、県民の意識醸成をする大変いい機会になったと前向きに受け止めて、さらに、危機管理を強めていきたいし、私どもも阿波踊りの、例えば、避難場所がどうだとか、観光客をどう、何かあったときに3日間維持するのか、食料を供給するのか、こういったことも、素直に、逃げずに正面から改革をしていくということで、今、取り組んでおりますので、また皆さんとともに一緒に助け合う体制を整えていければと思います。

○吉村委員　今回の巨大地震注意は震災に対する備えを再確認するという意味で非常によかったと思っています。緊張感もあって、大阪府においても24時間体制を敷きました。そして、市町村との連携においても、避難所がきちんと対応できるか、備蓄品はどうなっているか、あるいは起きたときどうするかの連絡体制、防災体制、そういったことを自治体間で共有できるという意味では非常によかった、震災対応力を強化するという意味ではよかったと思っています。

ただ、一方で危惧してますのは、今回「注意」が起きて、そして今、岸本委員がおっしゃった、いろんな意見も実際ある中で、「注意」と「警戒」という二つのレベルがあって、「警戒」のレベルはかなりリスク度が高いんだけど、今回「注意」がこうだったから「警戒」も同じようになるかという、全く違うリスクだと僕は思うんですね。専門家もやっぱり、「警戒」と「注意」は全然違うと言っている中で、今

度、「警戒」というのが発したときに、また、僕は右往左往するのではないだろうかというふうに想像しています。

なので今、大阪府の危機管理では近々、今回の振り返り、そして、「注意」と「警戒」が起きたときどうするか、ここを整理する防災会議を開く予定にしています。これについては、ぜひ広域連合でも共有させていただきたいと思いますし、むしろ、国でもしっかり、岸本委員がおっしゃったように、一定の基準であったり考え方を整理すべきだと思うんです。

やり過ぎじゃないかという意見があったのは事実だし、行動変容をどこまで求めていくのか、あるいはもう求めないのか、求めないとすればどういう震災対応を「注意」のときに求めるのか。あるいは、「警戒」だったらどこまで求めていくのか、いろんな損害が出るときにどうするのかということをあらかじめ、ある程度整理しておかないと、次「警戒」が出たときに非常に心配だし、2度目の「注意」が出たときに、結局地震が起きないと「オオカミが来たぞ」みたいな話になってもよくないから、きちんとその中身を検証して、そして「注意」と「警戒」のリスクに応じた対応と、そのときの行動変容を求めるか求めないか、求めるとすればどんな内容なのか、そのとき補償はどうなるんだとか、そういった議論を少ししておくべきだし、これは広域連合においても、やっぱり共有すべきことではないかなと思います。

○西脇副広域連合長　今回の巨大地震注意は、警戒態勢の再確認という非常に大きな意味があったと思います。今、吉村委員が発言されたように、これは元々、大規模地震対策特別措置法の枠組みで東海地震を中心にした非常に強制力の強い措置があり、かえってなかなか情報発信ができないのではないかという問題意識がある中で、この「注意」というランクが出てきたという意味においては役割を果たしたと思います。

ただ、内閣府が初めて出した巨大地震注意についての検証は、「警戒」との関係を整理しないと的確な検証もできないかもしれないと思うので、その辺りはどういう形で情報を内閣府に伝えるかは別にしても、よく注視をしていきたいと思っています。

以上です。

○三日月広域連合長 極めて重要なことだと思います。今回のことは、おっしゃったとおり対応や体制の再確認ができた、危機感、緊張感を一定醸成することができたということがございますが、「警戒」との関係はどう整理するのか、基準等についてどのように整理するのか、メッセージの発し方をどうするのかといったようなことについては、まだまだ議論、検討すべきことがございますので、大阪府さんや徳島県さんで既に検証の作業、入られているということですので、そういったことを共有すると同時に、関西広域連合としても、ぜひこの対応について議論をし、検証し、そして、次に備えていきたいと思っておりますので、よろしく御協力をお願いします。

それでは、議題に入らせていただきます。

まず初めに、「大阪・関西万博 関西パビリオンの取組状況について」を議題といたしまして、こちらは、大阪・関西万博 関西パビリオン企画委員会として開催いたしますので、ウェブで福井県と三重県にも御参加いただくことといたします。

まずは事務局から御説明をお願いいたします。

○本部事務局 資料1を御覧ください。

別紙1の2、3ページに写真をつけてございます。これは現在の現場の状況でございます。間もなく、これらの壁ができてないところにつきましても、壁が立ち上がり、9月末の建物引渡しに向けて、順調に工事が進んでおるところでございます。

それから、4ページ、5ページには、CGのような画像をつけてございます。これはレーザー測量で現場を計測して自動的に作り上げた画像でございます。

6ページのような計測機器で約2時間弱の作業で作っております。来年、各府県の展示が完了すれば、現場で大々的に計測を行い、今度はウェブパビリオンの主要コンテンツとしてまいる予定でございます。

別紙2につきましては、7ページから9ページにかけて、博覧会協会のプレス発表の中からトピックスをまとめたものでございます。

開幕に向けてどんどん進む状況でございますので、一読いただければ幸いです。このように次回以降も工事状況、それから、ウェブ催事の情報を御報告いたします。

以上でございます。

○三日月広域連合長      リングがつながったという報道もございますし、様々なパビリオンの準備も進んできていること、関西パビリオンとして、先ほど一部写真で御紹介、共有させていただいたような取組状況を御確認いただきました。

何か御意見や御質問ございますか。

○平井委員      この関西、大阪の万博につきまして、三日月広域連合長、また、吉村委員、山本副委員をはじめ、本当に大きなお力をいただき、だんだんと着々と整備も進んできたこと、感謝を申し上げたいと思います。ぜひ、これを機会にここ大山も、実は「とっとリアル・パビリオン」として登録しているんですが、関西エリア全体を周遊していただくような、そういうことをまた我々としても確認できればと思います。

特に、航空路が多分混雑をしてくると思います。そういう意味でここからほど近いところに米子鬼太郎空港というのがありまして、来年度の大阪・関西万博に向けて今、実は、乗り入れ路線のオファーが少しずつ増え始めています。

今、ソウル便がありますが、10月からは香港便が飛ぶことが決まりました。そのほかにも、今、台湾その他、交渉しているところもございます。ですから、そうして周遊しながら回っていくというスタイルを、この山陰のみならず、四国あるいは関西一円で共有できると思いますので、どうか御配慮いただければと思います。

○三日月広域連合長      昨日も山陰海岸ジオパークを視察させていただきましたけれども、広域周遊という意味で、万博に絡めて大変魅力的なところだと思われましたので、今おっしゃった、航空路の空港の問題を含めて、この万博を機に様々な改善をしていくということをぜひ趣向していきたいと思います。

何かほかにもございますか。

吉村委員、何か関連してございますか。

○吉村委員　大阪・関西万博、会場は夢洲ですけれども、効果が関西全体に広がっていくように連携して進めていきたいと思います。また、先日も鳥取に視察させていただきまして、砂の美術館とかいろいろ行かせていただきましたけれども、本当にすばらしいところがたくさんありますので、これを機に、多くの連携と、そして、やはり交通の問題もありますから、全員が協力しながら、この関西の魅力を発信できる機会になればと思っています。

関西パビリオンと大阪ヘルスケアパビリオンも同じ敷地の中にありますし、開幕の式典などを一緒にできたりとか、協力しながら、関西全体の魅力のつながりに発展していけばいいなと思います。準備状況は先ほど、広域連合長からもありましたけど、21日にリングもつながりまして、海外が独自に造るパビリオン以外はもう着実に予定どおり進んでいるところです。

また、安全対策もより強化して進めているという状況です。海外の独自パビリオンもかなり進んできておりますので、ここは各国とも協力しながら、開幕までにすばらしい会場整備と、中身が大切ですから、そういったところに取り組んでいきたいと思っています。

また、教育旅行等を含めて、子どもたちの万博の招待、僕はすばらしいことだというふうに思っていますので、その中の個々の課題についても、今、協会ともしっかりと詰めている最中ですから、関西の子どもたちが安心して、未来社会を体験して、自分の夢や希望につなげていけるような万博ができればいいなと思っていますので、また情報共有させてもらいたいと思います。

○三日月広域連合長　様々な取組、ありがとうございます。

今、最後にお触れいただいた子どもたちの招待等の安全対策についても、様々、協会との調整事項を今、行っていただいておりますので、また、そういった情報共有も皆さんと一緒にさせていただきたいと思います。

ほか、何かございますか。

それではこういった形で情報共有し、さらに機運を盛り上げ本番に向けて進んでまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、以上にて、この議題を終了とし、福井県と三重県はここで御退席ということになります。ありがとうございました。

続いて、協議事項に入ります。

「関西広域医療連携計画の一部変更について」を議題といたしまして、広域医療局から説明をお願いいたします。

○広域医療局 関西広域医療連携計画の一部変更についてでございます。

資料2を御覧ください。

広域医療分野における政策の方向性を示すため、本年3月に、令和6年4月から令和9年3月までを計画期間といたします関西広域医療連携計画を策定したところでございます。

このたび、奈良県の関西広域連合全部参加に伴いまして、奈良県の状況を追記するなど、計画の変更を行いたいと考えております。

変更内容につきましては、次ページ以降の新旧対照表のとおりでございます。奈良県さんの御協力に感謝を申し上げます。

本委員会で変更をお認めいただきましたら、計画の軽微な変更として、9月14日の防災医療常任委員会に御報告したいと考えております。

以上でございます。よろしく願いいたします。

○三日月広域連合長 この内容、これまでも議論してきたことの確認、協議でございますが、何か御意見、御質問ございますか。

それでは今の説明、そして、資料のとおり変更することといたします。

続きまして、協議事項の二つ目、「関西広域農林水産業ビジョンの一部変更について」、こちらも広域産業振興局の農林水産部から御説明をお願いいたします。

○広域産業振興局農林水産部 関西広域連合農林水産ビジョンの一部変更につい

て、資料3のとおりでございますが、このビジョンにつきましては、本年3月に、国内外の情勢変化を踏まえて、改訂を行ったところでございます。今回の変更内容につきましては、広域医療局と同じように、奈良県の関西広域連合への全部参加に伴いまして、本文の関係箇所を奈良県を記載するとともに、農林水産業に関する統計データを奈良県のデータを追加した付表に改めまして、統計データを最新情報に変更するものでございます。

2の今後のスケジュールでございますが、本日、各委員の御了承をいただければ、ビジョンの一部変更を行う、軽微変更するというところで、本年10月12日の産業環境常任委員会にて、本件について報告を行ってまいります。

説明は以上でございます。

○三日月広域連合長 この点、何か御意見、御質問ございますか。よろしゅうございますか。

食べるものを作る力というのはとても重要でございますので、食料安全保障の観点からも、こういったビジョンに基づく取組がさらに広域連合内でも進むように今、御説明のあった内容で変更をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。

それでは次に、「道路占用許可申請書様式の共通化について」、本部事務局から御説明をお願いいたします。

○本部事務局 資料4、道路占用許可申請書様式の共通化についてを御覧ください。

関西広域連合では、令和4年度からビジネスしやすい関西に向け、地域における行政目的の達成と、様々な事業者の利便性の向上の両立を目指し、広域的な様式・基準の統一に取り組んでいます。このたび、取組の一つである、道路占用許可申請に係る様式の共通化について、構成団体の合意が得られました。

1の共通化の対象のとおり、構成団体が管理する道路の占用許可申請が対象です。

2の具体的な取組内容の(1)のとおり、構成団体が合意した様式を共通様式とし

ます。なお、事業者の利便性に配慮し、各構成団体が従前から独自に定めている様式についても引き続き使用可能といたします。

また、2（2）の申請書添付図書につきましては、表記載の区分に従い整理しております。

これらについて、令和6年9月1日から運用を開始するものです。

説明は以上です。

○三日月広域連合長 広域連合の取組として、それぞれの府縣市ごとにあつた基準等を統一していこうという取組の一環で、このテーマを行ってまいりました。整いましたので、今、説明のあつた内容で行おうということですが、何か御意見、御質問ございますか。

それでは、この内容も御確認いただいたということとさせていただきます。

続いて、報告事項に入りますが、「関西広域連合管内のドクターヘリにおける整備措置事案について」を議題といたしまして、こちらも広域医療局から御説明をお願いいたします。

○広域医療局 資料の5を御覧ください。

広域医療局では学校法人ヒラタ学園における整備措置事案を受けまして、構成府県のドクターヘリ担当課から構成をいたします再発防止対策チームを設置し、再発防止策のフォローアップ等を行っております。本日は6月の連合委員会以降の活動状況について、御報告します。

資料の1、再発防止対策チームの活動状況でございます。

対策チーム会議を7月10日、8月9日にそれぞれ開催をしております。また、8月6日にはヒラタ学園本社に出向きまして、現地確認を行ったところでございます。

資料の2、再発防止策の実施状況でございます。

対策チーム会議におきまして、ヒラタ学園から提出のありました、2ページから5ページの資料等により再発防止策の実施状況を聴取しております。また、6ページか

ら7ページの再発防止策に係る現地確認についてでございますが、ヒラタ学園、神戸エアセンターにおきまして、整備管理システムの導入状況や予備品の確保状況等の現地確認を行っております。これらの状況聴取、また現地確認によりまして、現時点においてヒラタ学園が再発防止策を確実に実施していることを確認しているところでございます。

引き続き、対策チームにおきましては、必要な対応を継続し、適宜連合委員会に報告をしておりますので、よろしくお願いいたします。

○三日月広域連合長 この間、後藤田委員はじめ、チームを作り、学園とも様々な協議等をしていただいておりますが、何か御意見、御質問ございますか。

引き続き、小さいミスや対応からしっかりと検証して、大きな事故につながらない、そういう対応を広域連合としても取ってまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、「令和6年度北陸新幹線の建設促進に係る取組について」、こちらも本部事務局から御説明をお願いいたします。

○本部事務局 資料6を御覧ください。

「北陸新幹線整備促進シンポジウムin関西2024」を開催いたします。

こちらは毎年開催しておりまして、今回で3回目になります。9月17日火曜日、14時から大阪市のグランフロント大阪、ナレッジシアターで開催する予定でございます。

内容につきましては資料のとおりでして、主催者挨拶がございまして、続いて、北陸新幹線の概要説明ということで鉄道・運輸機構北陸新幹線建設局長様から最新の情報を含めてお話をいただく予定にしております。

その後、トークセッションということで、今回こちらの御三方に御登壇いただき、実施する予定にしております。

多くの方に参加いただき、関西の機運を盛り上げていきたいと考えております。

2枚目にチラシをつけております。

以上でございます。

○三日月広域連合長　北陸新幹線のシンポジウムを9月17日に開催するということがございますが、この間、分かってきた様々な課題等についても、みんなで共有する場、さらに機運を盛り上げていく場にしたいと思います。

何か御意見、御質問ございますでしょうか。

○後藤田委員　北陸の新幹線、関西広域としてしっかり応援していくのはすばらしいと思います。報告でございますが、昨日、600人以上が集まりまして、四国4県、四国新幹線の機運醸成の6回目の会が開かれまして、政府与党をはじめ、多くの国会議員にも大変な御支援をいただき、四国4県、ほかの3県の知事からも、「ぜひくれぐれも関西広域連合の皆様には、四国新幹線は次なる、もしくは同時並行で進める案件であるので、御理解をいただくように」と、いうことでございますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○平井委員　これまでも関西広域連合の要望に入れていただいておりますが、山陰新幹線、また中国横断新幹線も一緒に今後の具体的な計画化に向けた横添えとしてともにやっていただければと思います。

○三日月広域連合長　今、話題の出た四国や山陰、そして、中国横断というものにつなげるためにも、北陸新幹線建設促進を一丸となって進めていくということだと思いますので、ぜひ皆さん力を合わせて頑張ってもらいましょう。

ほかないようでしたら、以上でこの議題を終了させていただきまして、予定した議題は以上でございます。

また4点、資料配布がございますが、併せて御確認いただければと思います。その中には監査結果の報告等もいただいておりますので、議会とも共有し、今後の対応、改善等にもつなげていきたいと思ひます。

以上で全ての議題となりますが、何かこの際ということで、皆様方で御発言ございますでしょうか。

ないようでしたら、第169回関西広域連合委員会を終了させていただきます。皆さん、ありがとうございました。

○本部事務局　それでは、引き続きまして、記者会見に移らせていただきます。御発言の前に御所属、お名前をおっしゃってから御発言いただきますよう、お願いいたします。

それでは、御質問のある記者の方、お手を挙げていただきたいと思います。いかがでしょうか。

ないようでございますので、記者会見を終了いたします。

どうもありがとうございました。

閉会　12時06分